



一般社団法人 コミュニティ・メンタルヘルス・アウトリーチ協会  
地域づくり部会&研修委員会 共同企画研修会

# ケアと地域づくりとしての ヒューマンライブラリー ～誰もがつながり合う一つの手がかかり～

2023年8月19日(土)14:00～16:30  
オンライン研修会(ライブ配信)

## 【出演】

講師 栄 セツコさん(桃山学院大学)

実践報告 本間 貴宣さん(一般社団法人しん)、ユタカさん、かわちゃん

近年、メンタルケアニーズのある人々へのアウトリーチ活動は様々な法制度や領域で活発に展開するようになりました。どの領域においても、目の前の当事者それぞれのリカバリーを大切にしたい個別のアウトリーチ支援が熱心に実践されています。私たちはその活動の中で人々のあいだに様々な形で存在する差別、排斥、分断を目撃、あるいは体験することは少なくありません。当事者が人々と共にそれらを乗り越え、同じいち市民として、ひとりの生活者として、つながりあうために私たちは一体どのようなかわりをする事ができるのでしょうか。

今回、地域づくり部会では、「お互いに安心できるケア」についてみなさんと共に考えられる場を企画しました。誰もがつながり合う一つの手がかかりとして、「ヒューマンライブラリー」を通じて、ケアと地域づくりについてみなさんと一緒に考えていきたいと思います。

【主催】 一般社団法人コミュニティ・メンタルヘルス・アウトリーチ協会 地域づくり部会

【後援】 特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構 コンボ(予定)

## 【ヒューマンライブラリーとは】

ヒューマンライブラリー

(human library) は、障害者や社会的マイノリティを抱える人に対する偏見を減らし、相互理解を深めることを目的とした試み。

『人を本に見立てて読者に貸し出す図書館』という意味で、『読者(参加者)』と『本(障害者やマイノリティを持つ人)』とが対して対話をする。「リビングライブラリー」とも呼ばれる。

2000年にロスキルド・フェスティバルの一企画としてデンマークで行われたのが始まり。当初は「暴力廃絶」を目的とされ、以降、北欧、北米、オーストラリア、アジアなど、世界90か国以上でイベントが開催されている。

参考：横田雅弘、「ヒューマンライブラリーという図書館 ～新しい図書館のかたち～」2018年

## 【参加費】

個人正会員	¥1,000
チーム正会員	¥1,000
個人賛助会員	¥1,000
団体賛助会員	¥1,000
非会員	¥2,000

## 【定員】

200名

※定員になり次第締め切り。

## 【申し込み方法】

●以下のサイトからお申込み下さい  
<https://outreachnet.peatix.com/>  
スマホの方は以下QRコードからアクセス



※後日、申し込まれた方限定でアーカイブ配信があります。

## ●申し込み締め切り

2023年8月18日(金)  
※コンビニ/ATMでのお支払いは  
2023年8月17日まで

## 【問い合わせ先】

一般社団法人コミュニティ・メンタルヘルス・  
アウトリーチ協会

[outreachnet2021@gmail.com](mailto:outreachnet2021@gmail.com)